前進いっぱい！岐阜の行進

2015 年国民平和大行進

5 年連続、新たなコースづくりで 34 自治体

80%の実施率！少しでも楽しく

全体的に例年より行進に参加する人が多く、とくに 20 代から 40 代の青年層が多かったという岐阜では、今年は山県市、下呂市、飛騨市の 3 つの自治体で初めての行進ができました。飛騨市では初めてのことに驚きと反応が良く、無事に終えたところでどしゃ降りの雨だったとのこと。5 年前には 50%の実施率だった岐阜は現在 34 自治体、80%の実施率となりました。「わが町で！自分の思いを発信したい」という気持ち、少ない人数でも初めてみようという気軽さが次へ次へとつながっているようです。

逆に以前から行っている地域の行進で元気がなかったところもあったとのこと。課題がありつつも、事務局の堀浩子さんは「平和大行進に参加した人が楽しめる行進を目標に今年はやろうと思い、行進の真ん中から後ろのほうでピースコールをするなど心がけてはいました。楽しんでもらえたかは分かりませんが、声は出してもらえたように思えます。先導車がないときは、参加者にハンドマイクを持ってもらいメッセージや、ピースコールをしてもらうことができました。通し行進者の人が盛り上げてくれ元気とパワーをもらえました。今年で行進に参加して 3 年目ですが、例年になく盛り上がっていたように思えます。“ピースコール岐阜弁ヴァージョン”は、最初はとても引かれましたが、やっていくうちに何とか形になったかなと思います」と。

沿道に出て行進を待っていて一緒に歩いた町長、議長や、初！議長の提案で「戦争を知らない子どもたち」を参加者一同で合唱♪

県内でいくつかの自治体首長や議長が行進に参加、一緒に歩いていますが、垂井町の町長、議長さんが沿道で待っておられて、一緒に歩いてくださったのにはびっくり！あわててアナウンスという場面も。

大垣市神戸町を訪問した岐阜平和行進を歓迎した宮川一美町議会議長は、「私もそうですが、みなさんは戦争を知らない子どもたちです。ジローズの歌をいっしょに唄いましょう！」と提案。行進者との大合唱になりました。そして宮川議長は、「戦争を知らないものの責任として、平和を子どもたちに引き継ぎましょう！」と締めくくって喝采を浴びました。

地元の方に聞けば、「無所属ですが、どちらかといえば保守の方」だそうです。ですが、信ずるところをこのような形で表現する町議会議長が出現したことに、“時代は変わる”と感じました。

国際青年リレー行進の募金 22 万を超える！必要経費も国際青年リレー募金でしっかり賄うため毎日の声かけ。財政づくりにゲン T シャツ 70 枚！

青年リレー行進募金は集会でカンパのアピールに 1 分ほど時間もらい、アピール後すぐ袋を持ってまわったのが良かったのかなと思います。マギーさんパワーも大きかった気がします。流暢な日本語でアピールしていたことは効果絶大でした。また、全国通し行進者の山口さん、松永さんや県内通し行進者のみなさんが協力してくださいました。ゲン T シャツは母親大会やいろいろなところに声をかけてもらうなどして財政活動に頑張りました。